

お知らせ

大型自動車の点検項目が追加されます

平成19年4月1日より、大型車の車輪脱落事故を防止する観点から、自動車点検基準（昭和26年運輸省令第70号）が改正施行され、日常点検基準に「ディスク・ホイールの取付状態が不良でないこと」並びに定期点検基準に「ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷」の点検項目が追加されます。

大型トラックや大型バスの使用者の皆様は、これらの点検漏れのないよう適切に点検・整備の励行をお願いいたします。

なお、このほか、構造の特殊性に鑑み、被牽引自動車（トレーラ）の定期点検基準が分離独立されます。

- 追加される点検項目の概要 -

【日常点検】

ディスク・ホイールの取付状態について、目視により、

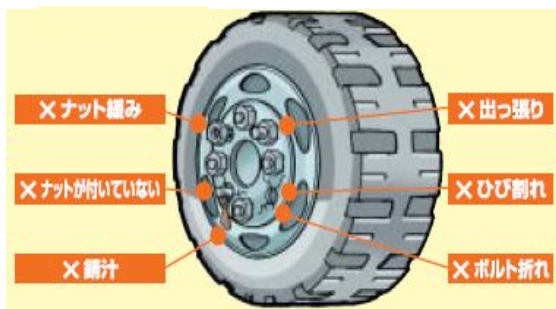
ホイール・ナットの脱落やホイール・ボルトの折損はないか

ホイール・ボルトのまわりに錆（さび）汁が出た痕跡はないか

ホイール・ナットから突出しているホイール・ボルトの長さに不揃いはないか点検します。

点検ハンマなどを用いて、

ホイール・ボルトの折損やホイール・ナットの緩みがないか、ホイール・ナットの下側に指を添えて、点検ハンマでホイール・ナットを叩いたときに指に伝わる振動が他のホイール・ナットと異なったり、濁った音がしたりしないか点検します。



【定期点検】

12月ごとの点検時、ホイール・ディスクを取り外し、ホイール・ナット又はホイール・ボルトに損傷や著しいさびの発生がないか等を点検します。

- 点検・整備等の際しての留意事項 -

ホイール・ナット又はホイール・ボルトは、トルクレンチなどを用いて規定のトルクで締め付けます。

スチール製とアルミ製のディスク・ホイールでは、それぞれ専用のホイール・ボルト及びホイール・ナットを使用する必要があります。